

# SSTL 虹のかけはし 私たちからあなたへ

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会  
〒332-0011 川口市元郷1-10-13  
編集人 社会福祉法人 川越にじの家  
障害者支援施設 にじの家  
施設長 菊池 崇臣  
〒350-0002 川越市古谷本郷992番地  
TEL 049-236-0666  
FAX 049-236-0665  
http://k-nijinokai.com/  
E-mail:niji@k-nijinokai.com  
郵便振替口座番号 00180-5-657610  
購読料 1部100円

No. 63

## 今年度を振り返って

### 法改正にも対応して

理事長 野本 和幸

戦後七〇年にあたる平成二十七年を表す漢字は「安」でした。安楽関連法の成立、環境問題やテロ対策などの不安が広がった年でした。国際間の一層の協調が求められる問題ばかりです。

にじの会においては、グループホーム建設に向けての取り組みが最大の課題でした。川越市との協議が整いようやく着工への運びとなりました。今後、利用者の選定、職員の確保など並行して進めていく必要があります。

地域とのふれあい、交流として近接のグリーンフィールド自治会さんとの共同の夕涼み会を開催することができました。ふれあい祭りなどにおいては地域の皆様の参加がさらに進むような工夫も必要です。

家族会との関係では、年度の開催予定を決めていただくなどのなかで、今年度も栄養士の話の場を設けたり、適時に施設からの情報提供など相互理解としての場を持てました。

国では社会福祉法の六十六年ぶりの大改正が進められており、九月にセミナーに参加しました。

### 今年度を振り返って

施設長 菊池 崇臣

平成十八年に公益法人制度改革が行われ、遅れて社会福祉法人にも求められるものです。事業拡大・内部ガバナンスの強化・職員の採用、処遇改善を3本の矢として社会福祉法人に経営改革が求められます。

こうした改革への対応や経営の効率、効果的な運営のため事業計画にあった中長期計画の策定を目指しました。実現には地域との関係の一層の進展や職員の専門性への支援などが必要です。

利用者支援においては様々な場面で困難な状況や課題が生じます。職員の処遇改善とともに働きがい、一体感のある職場づくりが経営の根幹であることに変わりありません。本年度もこうした考えのもとに法人の安定経営を目指してまいりました。

多くの皆様にご支援、ご協力を頂きまして、心より感謝致します。新年度も変わらぬご支援何卒よろしくお願い申し上げます。

### 今年度を振り返って

職員採用

当法人の今年度の取り組みについては、理事長が要約して記載しておりますので、私からはもう少し実務的なことをご報告させていただきます。あわせてこれからの課題についても少し触れたいと思います。

福祉業界全体の人手不足については、当法人・当施設においても同様であり、昔のように単に求人票を学校や公的な人材紹介所に掲げて待っているだけでは集まらない時代となりました。すでに取り組んでいる法人さんも多いと思いますが、今年度はOBやOGの出身校の就職課を手分けして回ったり、IT時代に合わせた求人方法に切り替えて対応して参りました。立案を進めている中長期計画のなかでは数年先の事業展開も視野に入れていることから、多くの職員を確保したいと考えておりますが、なかなかうまくいっていないのが実際のところですので、次年度も引き続き職員採用には力を入れていきたいと思っております。

職員を採用する際には、同時に入職後の計画的な育成も考えていく必要があります。これまででも新任者には入職後、一ヶ月間のチューター制度を実施しOJTを推進して参りましたが、細かい部分はどうしてもチューターの手腕に頼りつきりになってしまつておりましたが、OJTプログラムを細かく組む時間がないと、限定された職員にはかり負担がかかるなどと言いつつ、文字通りこれが言い訳で、新任者になるべく早い段階で一人前になつてもうためには、ここに多くの投資をすることが必要です。そのような意味では、採用活動と並行して人材育成システムも再考し新たなものを構築していく必要があると考えています。

分場の作業場と相談支援センターを開設してから三年が経過しました。次年度前半にはグループホーム建設も着工に入ります。当法人は、法人規模はまだまだ小さいですが、これからも当法人に求められているニーズを的確にキャッチし、それに応えていく方法はないか考えていきたいと思っております。末筆になりますが、今年度も多大なるご支援を賜りましたことに感謝申し上げます。おかげさまで。



# 第23回 にじの家 ふれあい祭り

## Link ~ 大切な繋がり ~



今年度もにじの家最大のイベント「ふれあい祭り」が11月3日に開催されました。前日は雨が降るなど不安が残りましたが、当日は晴天となり無事に執り行うことが出来ました。

今年度は所沢市のイメージキャラクター「トころん」が施設に遊びに来てくれました。利用者の方はもちろん、大人から子どもまで写真を撮ったり、触れ合っている姿が見られました。その他には毎年お越しいただいているどんどこ太鼓の皆様、川越マンドリンクラブの皆様、川越東高校吹奏楽部の皆様の素敵な演奏でお祭りがより一層盛り上がりしました。また、今年度のイベントはチーム対抗戦で「輪投げ」を行いました。誰もが参加しやすい活動だったようで地域の方も多く参加していただきました。イベント中は、元氣よく輪を的に投げていたりとお楽しみすることが出来ました。

今年度も無事に祭りが開催でき、ご家族の皆様やボランティアの皆様、地域の方々のご協力があったのことに思います。本当にありがとうございました。

実行委員 井上 翔平  
田原 千賀



## ふれあい祭り収支決算書

収入の部		支出の部	
御 祝 金	315,000	郵 便 料	30,018
全本田労連埼玉地協	12,950	ちらし・材料費	104,804
家族会有志焼きそば売上	23,900	野菜仕入れ代	20,000
野菜売り上げ	14,100	ボランティア食事	14,484
ジュース売り上げ	13,600	ボランティア保険	1,020
作品販売	31,080	厨房食材・小物	118,475
バザー売り上げ	39,490	音響レンタル	32,400
にじの家模擬店	66,700		
合 計	516,820	合 計	321,201
		利益合計	195,619

## 市役所販売

支援員 田中 真澄

十二月八日に市役所販売に初めて参加させていただきました。織物班・ハガキ班・陶芸班の三つの作業班が作品を出しました。織物班からはコースターやペン立て、マフラー等。ハガキ班からはハガキや箸袋、コースター等。陶芸班からは様々な種類・形・大きさの皿や器等、利用者の方が一生懸命作った作品を販売させていただきました。

今回は、幅広い世代の方々が足を運んで下さいました。作品に目を向けてくださった方や、作品を手にとってくださった方々と利用者とのふれあいを間近で見ることができ、とても素敵な場であると感じました。隣で同じく作品販売をしていた他の作業所の職員や、利用者の方々ともお話をすることができ、良い経験をすることができました。また改めて、人と人とのつながりは大切であると感じさせられた一日でした。

これからも多くの作品を利用者の方々と一緒に作っていききたいと思えます。



## クリスマス会

支援員 高橋 健也

今年度のクリスマス会は毎年お世話になっている、狭山市のニックス様にて行なってきました。にじの家の冬の一大イベントといえは、クリスマス会と浮かぶほど、利用者の皆様方はとても楽しみにしておりまし

た。当日は午前中に出発して、ちょうどお昼頃に会場へ到着しました。ちよっとしたドライブも楽しみが待っていると思うと、より一層楽しそうに過ごしていました。到着してすぐにお昼ご飯となり、フライドチキンにハンバーグ、フライドポテトにエビ



フライなど、豪華なメニューを皆さん嬉しそうに食べていました。今年度の新人職員の出し物は今までとは違った思い出づくりをして欲しいという思いから、リース作りを提案し、準備の段階では改善に改善を重ねて、皆さんに楽しんでいただけようなものを提供することができました。皆さん思い思いにクリスマスにちなんで折った折り紙やシールを貼っていき、楽しい一時を過ごしました。また来年も皆さんに楽しんでいただけるように考えるのが今から楽しみです。



## 内部研修

支援員 中村 日向子

新しい年を迎え、一月八日に内部研修を担当させていただきました。今回のテーマは『出生前診断』についてで、診断方法の紹介とグループディスカッションを行いました。ディスカッションのテーマは、簡単に決められるものではないかと思っていました。参加者の方達は自分の意見をしっかりと持っていて、グループの中で意見交換が沢山行われており、とても良い話し合いになっていたのでではないかと思えます。私もディスカッションに参加してもらいましたが、個々で全く違う意見を持っていて、その意見を聞くことが出来て、自分の考えを見つめ直すきっかけになりました。支援には直接関連する内容ではありませんでしたが、考えるという意味で良い時間になったのではないかと思います。

今回の研修は、もう一名の職員と一緒に準備をしました。色々な方法で資料集めをして、当日を迎えました。とても緊張しましたが、このような機会を作っていただき、経験出来て良かったと思います。ありがとうございました。

## 強度行動障害支援者養成 プレ研修

支援員 田嶋 良樹

一月九日、強度行動障害支援者の研修を受けました。にじの家の職員以外にも、他法人の職員の方々が参加されていました。初めは緊張していましたが、グループディスカッションで簡単な自己紹介やコミュニケーションを取り組むことが出来ました。

事例などのディスカッションでは、グループ同士でそれぞれの意見交換をしたり、事例で出た方の気持ちになって考えて話し合うことが出来ました。また、他のグループ発表も聞いたことで新たな考えが生まれました。今回はプレ研修ということで、時間が限られながらの研修となりましたが、改めて自分がプロの支援者でなければならぬと実感しました。こういった外部での研修は、視野が広がりが新しい考えを持つことが出来る貴重な場であると感じました。



# ボランティア紹介&お知らせ

## ◆今号までにお世話になった 方々を紹介します◆

紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

伊勢国望・並木敬三・木村正義・大嶽敏郎・宮田カツ工・鈴木登志枝・廣瀬明子・黒田昌子・工藤江里子・林忠也・堤薫・武藤健一・武藤志寿子・土谷禮司・奥山由美子・本間充子・松沢照子・村田朋子・岡野幾子・佐藤あさ子・鈴木一美・加藤政夫・栗原正和・須藤晏・末永信明・中村佑・筋野隆男・笠原秀元・松田都・谷平秀子・剣持節子・竹谷裕子・寺師達子・伊藤富士子・上原美希・渡邊裕貴・川原健太・高橋恵子・白倉崇泰・小橋和幸・岡田勝磨・山本有沙子・那須野豊・藤田秀人・仲田裕哉・藤沼教子・千葉新ノ介・高畑勇斗・高田莉奈・磯野加奈・生沼紫織・渡辺桃子・蓬田清人・山田裕佳・高篠千鶴・堀井由紀・内海ちあき・小池貴宏・島田涼

金子商店・岡田屋・春陽苑(旬ヨシダ・出口商店・角田屋酒店・江島工業・虎屋商事(株)・富士薬品・三陽工業・川越市リサイクルセンター・川越東高等学校・えすばわーる伊佐沼・(株)平井スチール・日本サッシガラス(株)・川松電機・(有)加藤工業・常盤工業(株)・(株)伸栄製作所・ほぶらの樹・グリーンロジテック(株)・(株)日武設備・埼玉精機(株)・川越工場・管間工業(株)・川越アトレ福祉の店・南古谷大樹作業所・高階市民センター内福祉喫茶・茶房ひととき・川越市役所

### ★皆様からの

### 「支援に感謝して」

平成二十七年七月一日から平成二十七年十二月末日までに「川越にじの会後援会」にご寄付いただいた方々のお名前を掲載致します。なお、紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

### 《後援会加入者》

細野洋志・百瀬登志・千木良あき子・中野登美三・黒沼史朗・嶋田剛・沼田勲・一ノ瀬辰一郎・駒井忠幸・出口恵美・桜井栄子・城田治之・金澤昌敏・森山和子・田中登美夫・伊勢国望・中野初哉・大高定子・国際ソロプチミ

スト埼玉・沼田順子・横田尚美・逆井克己・氷見雪江・高梨淑子・木村正義・戸口正夫・徳本恵子・昭和ガス(株)・深澤美津代・(株)丸広百貨店・飯田弘・谷田和弘・谷田昭子・桑田和美・桑山静子・内海勝・大野恵子・川松電機

## 後援会会員募集

『にじの会』の活動をご支援くださる会員にご加入ください。

【会費】 年額 一〇、〇〇〇円

個人 二、〇〇〇円

法人 一〇、〇〇〇円

【郵便振替口座】

番号 〇〇180051657610

名称 川越にじの会後援会

## 後援会総会のお知らせ

日頃より、にじの家後援会にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成二十八年度の後援会総会のご案内をさせていただきます。

〔日時〕

平成二十八年四月十八日(月)

11時30分 開始

〔会場〕

作業棟

ご多忙とは存じますが、ご出席頂きたくご案内申し上げます。

### 《一般寄付者》

いせはらクリニック・ランチカフエ くるみの木・丸田寿夫・

本田金属労働組合・社会福祉法人川越にじの会 後援会・嶋田剛・医療法人愛和会 愛和病院

## 退職しました

\*非常勤職員

内海 ちあきさん

平成二十七年十月三十一日付

\*支援員

長澤 祐輔さん

平成二十七年十一月三十日付

## 編集後記



今年度最後の広報誌も無事に発行することができ、手にこつて頂いた皆様に読んでもらえよと思つと嬉しく思います。さて、今号の『虹のかけはし』の中身としては、昨年の夏〜冬にかけての内容も多岐にわたたり、一人でも多くの方に施設の事を知って欲しいとの思いが今号に反映されたように感じております。来年も、内容盛り沢山で届けますのでよろしくお願いいたします。

広報担当

日隈 聡・佐藤 照美

重野 涼子・増川さゆり

田中 真澄・須永 幹子